

2011.5.20

「環境未来都市」構想推進フォーラム

“都市”の魅力を創造する

—「環境未来都市」構想—

村上周三

(独) 建築研究所 理事長

1. 都市の“魅力”とは？

1) 都市の魅力の構成

⇒ 道路、建物などの物質的要因だけでなく、歴史・文化、社会・経済や政治システムなどの非物質的要因が強く影響

⇒ ハード/ソフトのトータルサービスが都市の魅力を形成

2) 魅力的都市 / 地域をゼロベースで建設する試み？

⇒ 一方、衰退していた既存都市の再生に成功し“魅力”を回復した事例は内外に数多く存在

⇒ 実現可能性の高い選択:

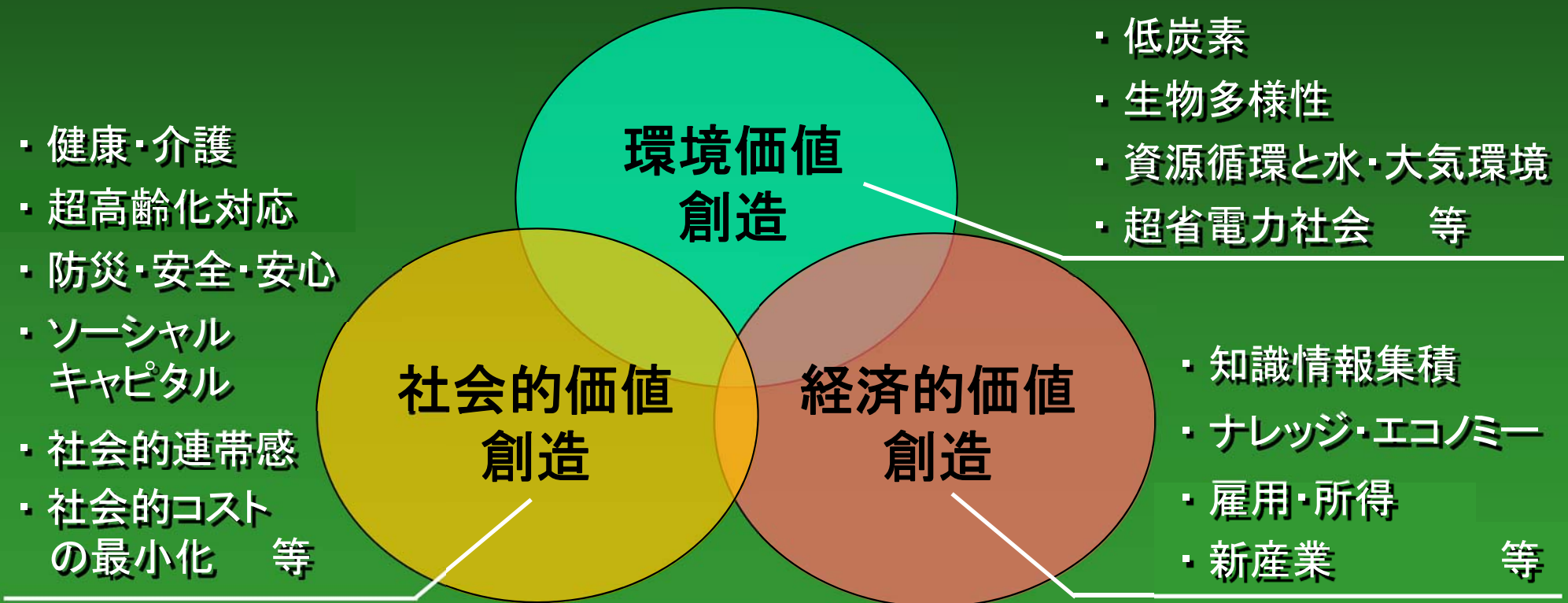
既存都市の ①歴史・伝統、②文化資産、③ソーシャルキャピタル等を活用した“魅力的な都市 / 地域”の創造

2. “魅力”の基盤を提供するものは何か？

⇒ 環境価値、社会的価値、経済的価値の創造

環境未来都市のデザインの根幹

⇒ 3つの創造を促進する仕組みを内包すること



3. いかにして価値創造誘発の仕組みを内包させるか？

1) 自律的好循環の形成

- ⇒ ヒト・モノ・カネを集中投資すれば、
情報・サービス・ビジネス等が集積・融合し、
新しい価値の創造
- ⇒ 新しい価値が創造されれば、さらにヒト・モノ・カネが内外から集まる
- ⇒ 自律的好循環

2) 自律的好循環の波及効果

- ・ 社会・経済システムのイノベーションの誘発促進
 - ・ 国の発展のエンジンとしての新しい“都市像”の提示
 - ・ 誰もが住みたいまち、活力のあるまちの実現
- ⇒ “環境未来都市”ネットワークの形成による
成果の全国展開

4. 環境未来都市実現に向けた アピールポイントの事例 (1/2)

- ① 環境資産開発
- ② 社会資産開発
- ③ 文化資産開発
- ④ 再生可能エネルギー全面導入
- ⑤ 低炭素社会追求
- ⑥ 省エネ・省資源追求
- ⑦ 超省電力社会追及
- ⑧ 生態系サービス再評価
- ⑨ 健康維持増進
- ⑩ 高齢者対応

4. 環境未来都市実現に向けた アピールポイントの事例 (2/2)

- ⑪ 防災・安全・安心追求
 - ⑫ ナレッジ・キャピタル集積
 - ⑬ 新産業創出
 - ⑭ 次世代交通開発
 - ⑮ エコツーリズム開発
 - ⑯ 規制改革・既得権見直し
 - ⑰ 行政特例区活用
 - ⑱ 農林漁業活性化
 - ⑲ キャピタルゲイン期待
 - ⑳ 海外進出期待
- 等